

第152回 定時株主総会



東リ株式会社

2016年 6月 23日 午前10時

於：本社集会室

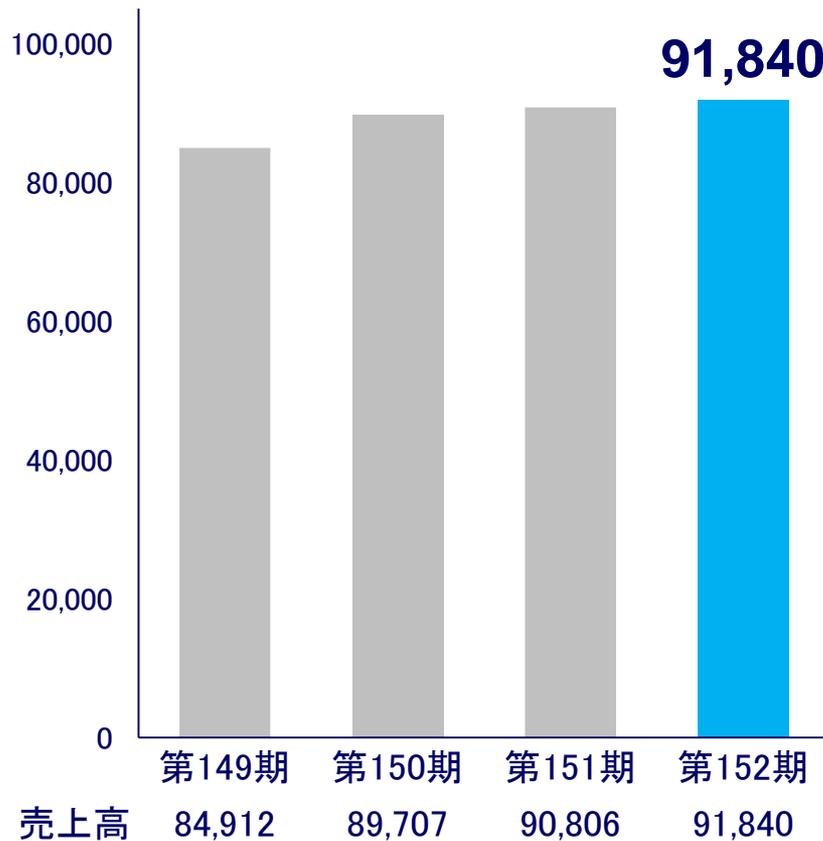
第152期 事業年度 監査報告

第152期 事業報告および 連結計算書類の内容報告

(連結) 企業集団の事業の経過および成果

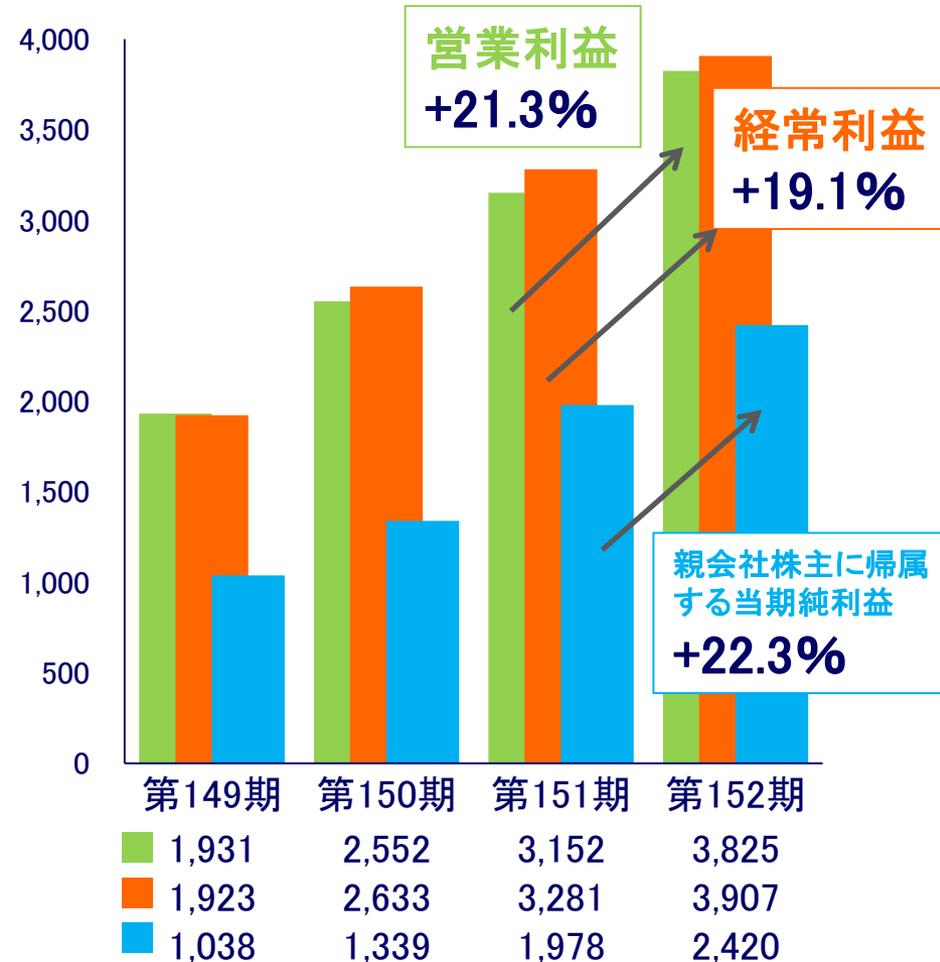
売上高の推移

(百万円)



利益の推移

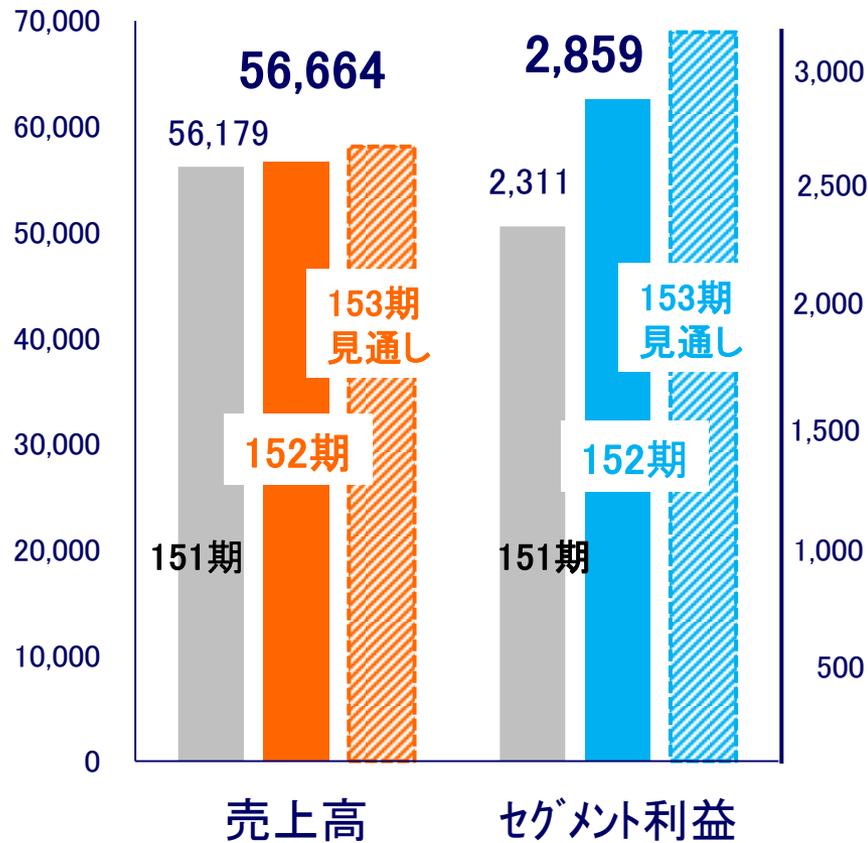
(百万円)



(連結)セグメント別実績

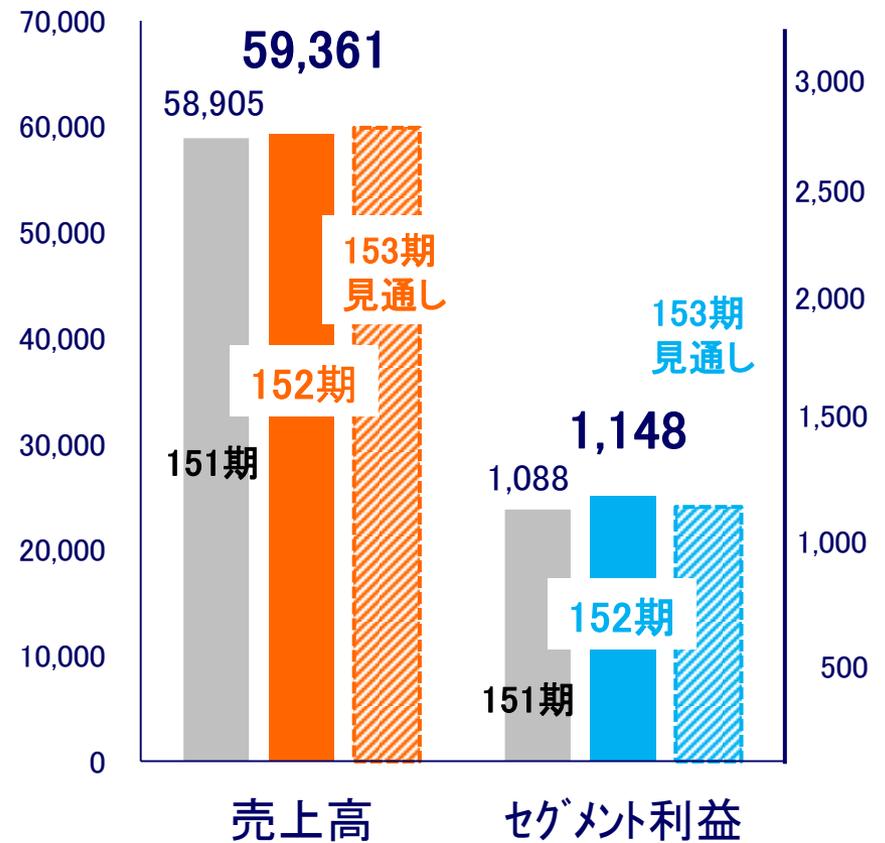
プロダクト事業

(百万円)

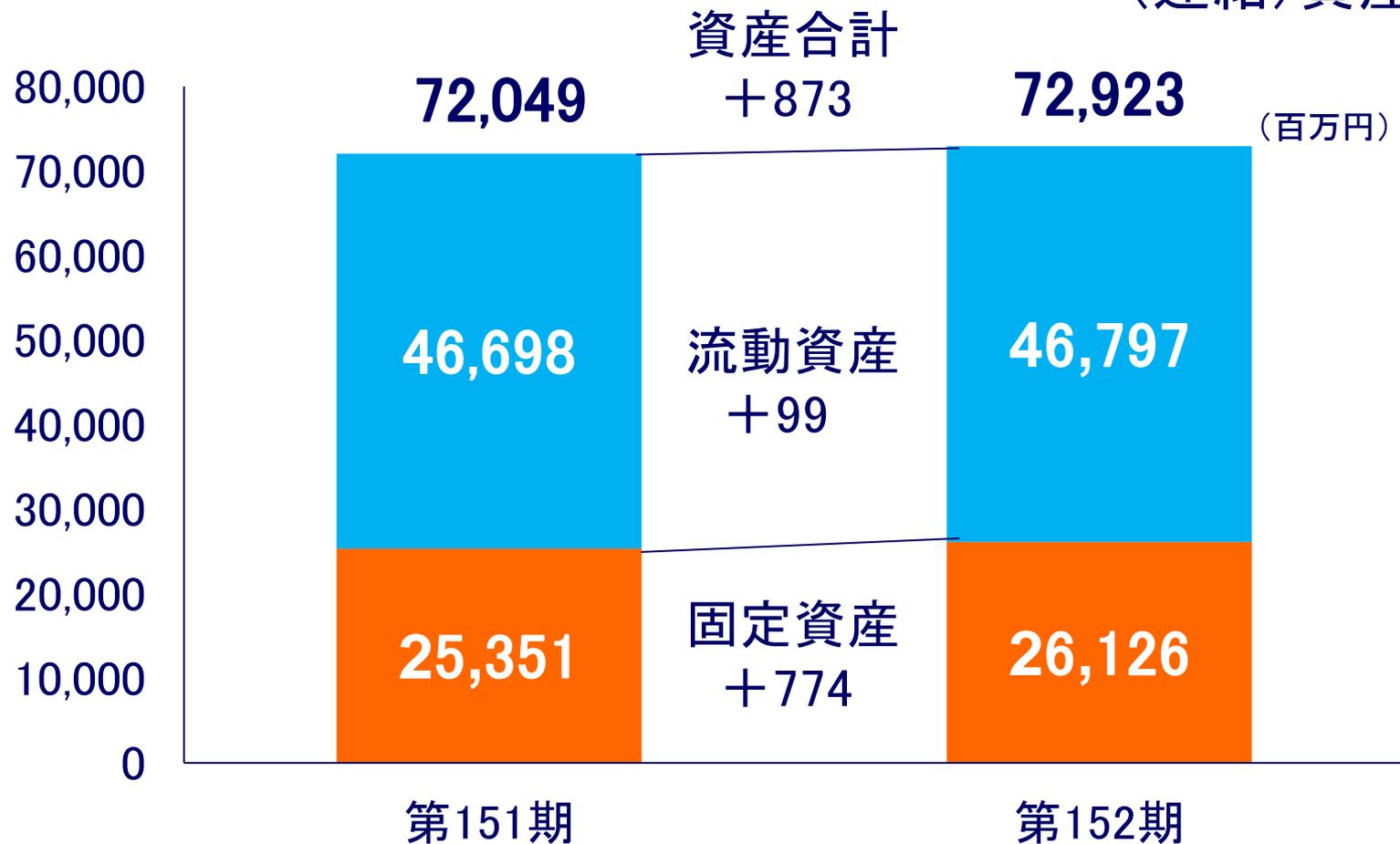


インテリア卸及び工事事業

(百万円)



(連結)資産の部



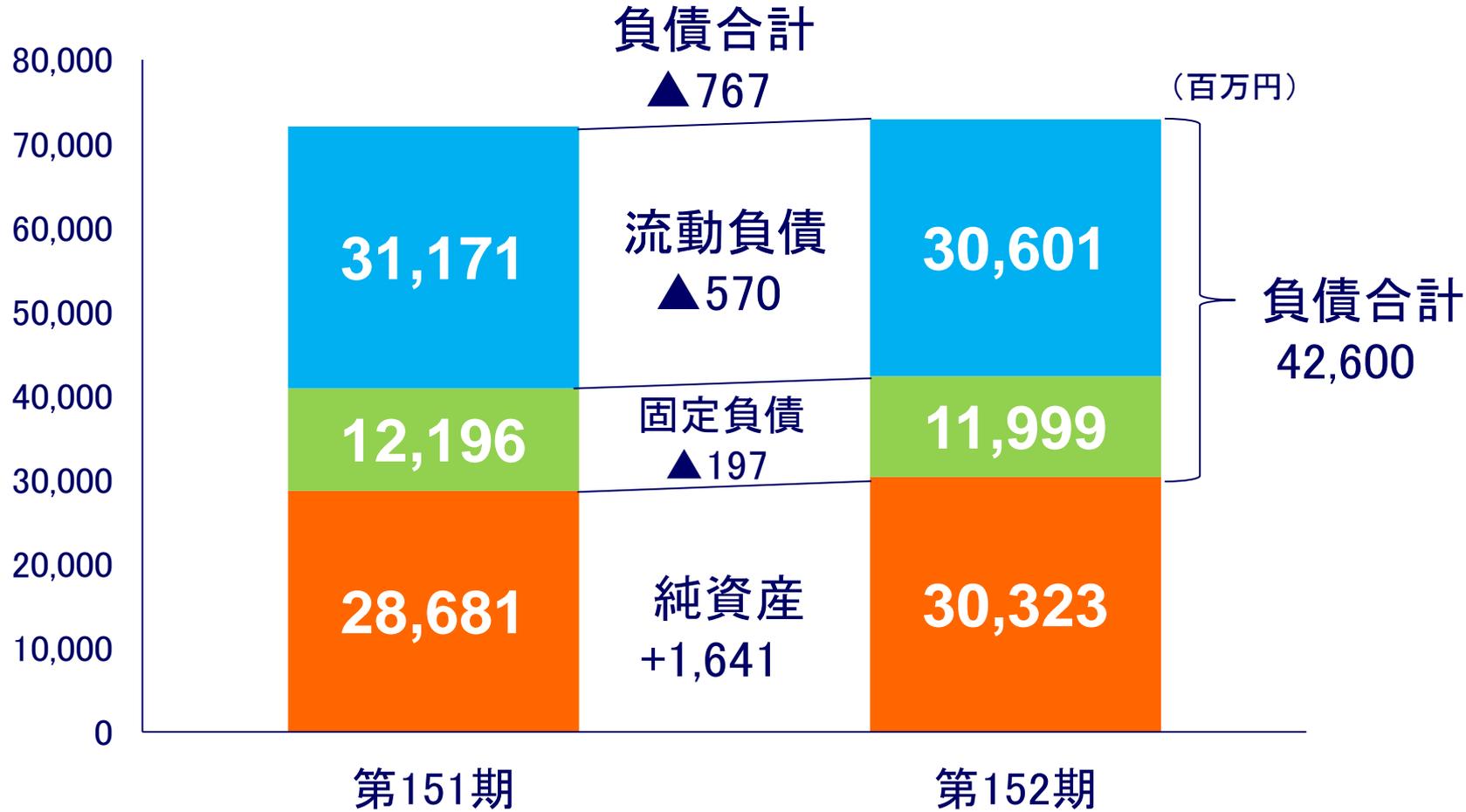
【流動資産】

- ・現金及び預金 +679
- ・受取手形及び売掛金 ▲308
- ・棚卸資産 ▲240

【固定資産】

- ・有形固定資産 +1,161
- ・投資有価証券 ▲580

(連結)負債の部・純資産の部



【流動負債・固定負債】

・支払手形及び買掛金 ▲764

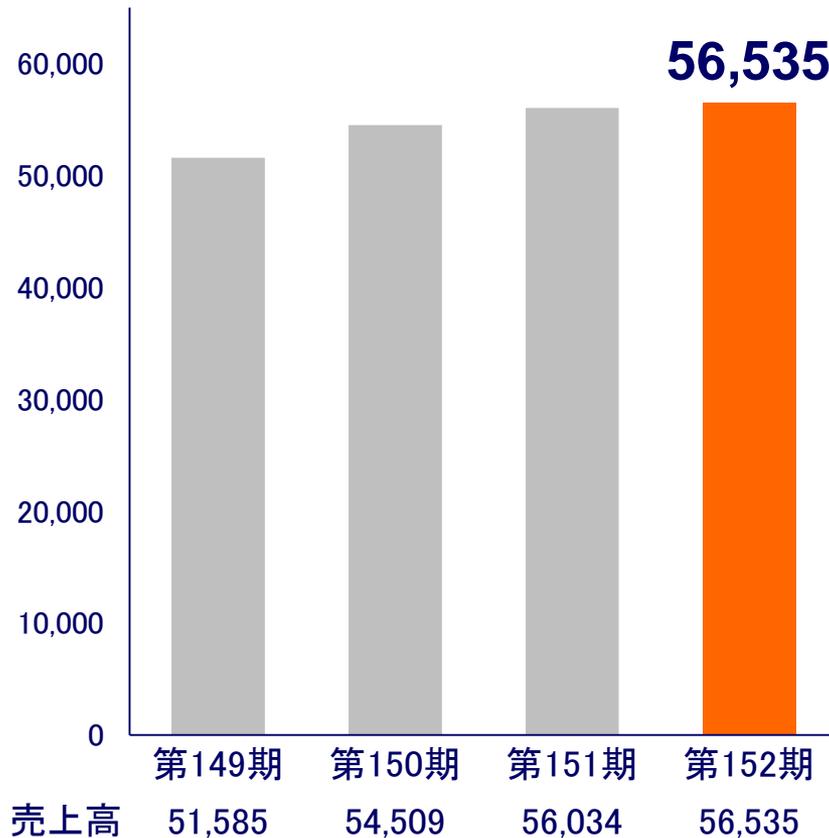
【純資産】

・利益剰余金 +1,988
・その他有価証券評価差額金 ▲307

(単体)事業の経過および成果

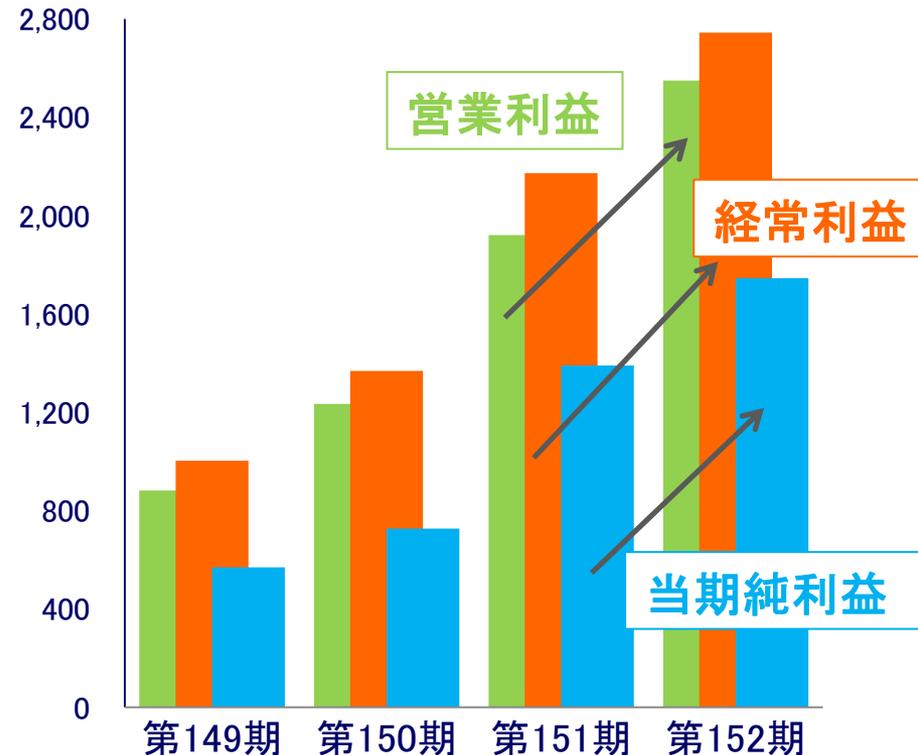
売上高の推移

(百万円)



利益の推移

(百万円)



営業利益	882	1,234	1,921	2,550
経常利益	1,003	1,369	2,173	2,744
当期純利益	569	727	1,391	1,746

対応すべき課題

①

中期経営計画
「SHINKA-100」の推進

②

環境負荷低減に向けた
取り組みの促進

③

健全なるコーポレートガバナンス
の確立

独立社外役員の活動状況(2015年4月～2016年3月)

・取締役会への出席状況

	氏名	出席回数	出席率
社外 取締役	横田 絵理	15回/16回	94%
	今崎 恭生	13回/13回	100%
社外 監査役	堀村 不器雄	15回/16回	94%
	森川 拓	13回/13回	100%

※全16回開催(定時取締役会12回・臨時取締役会4回)

- ・各常勤取締役とのミーティングの開催(4回)
- ・監査法人による監査報告会への参加(2回)
- ・独立社外役員を中心とする意見交換会の開催(2016年1月)

健全なるコーポレートガバナンスの確立

取締役会の実効性に関する分析・評価

□ 結果概要

分析・評価項目	分析・評価結果
構成・規模	事業規模・内容等に照らし、人数・構成は妥当である
情報提供	情報共有化・意見交換の機会を設けるなど、独立社外役員に対して情報格差が生じないように配慮されている
審議環境	審議時間に制限は設けず、議案を審議・判断する十分な時間を確保している
開催頻度・付議案件	開催頻度は適切(原則月1回) 適宜、取締役会規則等の見直しを行ない、審議項目の適正化に努めている

□ 今後の課題

- ・取締役会での決議、報告に関する事前検討資料の早期配付に努める
- ・独立社外役員の理解促進の為に、配付資料やその説明方法の恒常的な改善を進めていく

中期経営計画『SHINKA-100』進捗

『 SHINKA-100 』

(フェーズⅠ)2015-17年度 ・ (フェーズⅡ)2018-20年度

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

2019年の東り『創業百年』に向けて、事業基盤強化と成長戦略を推し進め、『百年』の後へのさらなる発展性を追求する。

① 「進化」

～コア事業の成長と発展～

② 「深化」

～グローバル事業展開の拡大～

③ 「真価」

～成長と発展のための事業基盤の整備～

「進化」 ～コア事業の成長と発展～

- 中長期商品戦略に基づく事業の強化
- 拠点最適化の実現
- 販売チャネルの強化
- 市場別販売戦略の強化

重点戦略「進化」 取り組み実績

～「中長期商品戦略に基づく事業の強化」

「マチュアNW」

(2015年8月発売)

- ・主力商品「マチュア」にNW機能を付与
- ・長期間ワックスメンテナンスが不要な「NWシリーズ」として新たにラインアップ

永く、強く、美しく。



NO WAX

ワックスメンテナンスがいらぬ床材

NWシリーズ



重点戦略「進化」 取り組み実績

～「中長期商品戦略に基づく事業の強化」



新継目処理工法

「ジョイントシールド」 (2016年4月発売 特許出願中)

- ・「NWシリーズ」床材 塩ビシート専用の画期的な継目処理工法
- ・長尺シートの継ぎ目が目立ちにくいため、床材の意匠を損なわない
- ・継ぎ目部分に汚れが溜まりにくいため、ハイレベルな床材の美観を維持

重点戦略「進化」 取り組み実績

～「中長期商品戦略に基づく事業の強化」



「ファブテックタイル/ファブテック腰壁」

(2016年4月発売)

- ・伝統の平織り技術と現代のテクノロジーを融合
- ・タイルと腰壁材をラインアップ
- ・一貫した国内生産で海外品に対抗



重点戦略「進化」 取り組み実績

～「拠点最適化の実現」

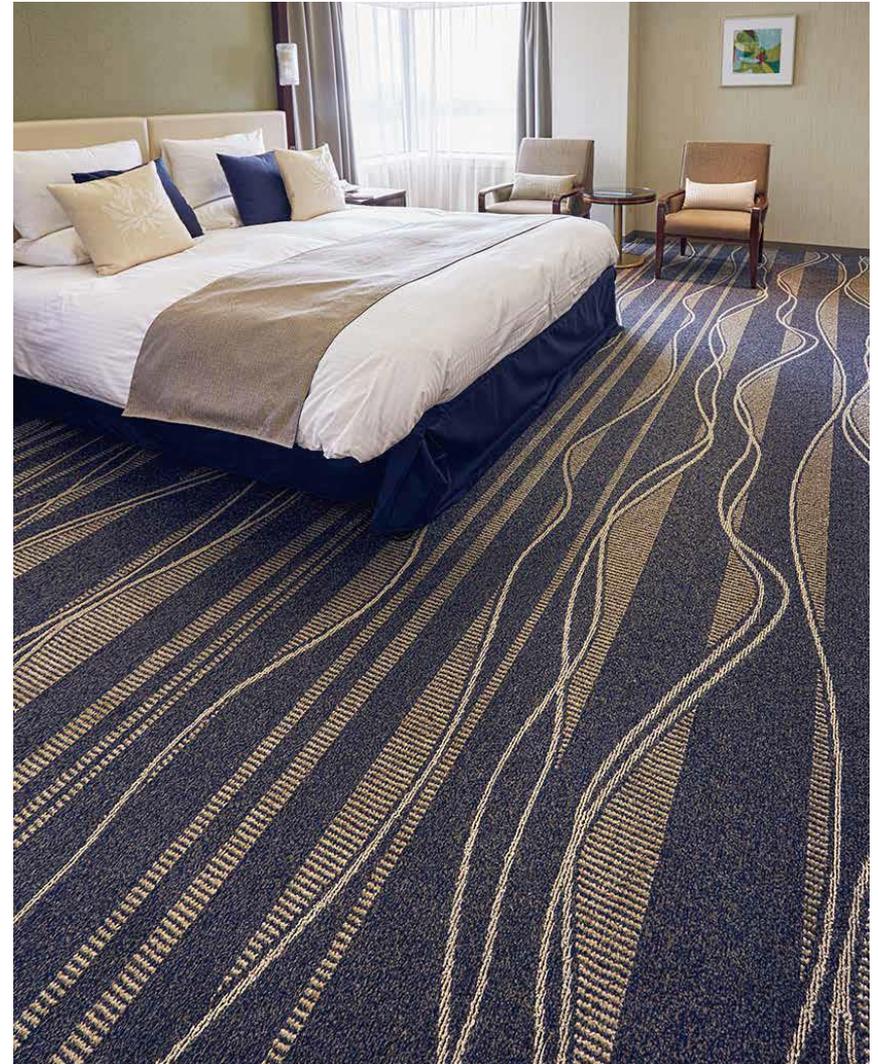


- ・厚木事業所に床材製造設備を導入 ～ 供給力を増強（2016年3月）
- ・滋賀事業所にカーペット製造設備を導入 ～ 供給力を増強（2016年1月）
- ・滋賀事業所の新倉庫を建設 ～ 物流体制を強化（2015年11月）
- ・厚木事業所に新カーテン縫製棟を建設 ～ 拠点集約で事業収益改善
（2016年1月）

重点戦略「進化」 取り組み実績

～「市場別販売戦略の強化」

- ・ホテルリニューアル市場の攻略
- ・B to C 市場への販促体制強化
(ネット販売チャネル・量販
チャネル等)



「深化」 ～グローバル事業展開の拡大～

- 海外販売の拡大
- 海外事業拡大のための基盤の強化
- グローバル視点での業務への取り組み

- ・海外専用タイルカーペット
YUTAKA2000発売

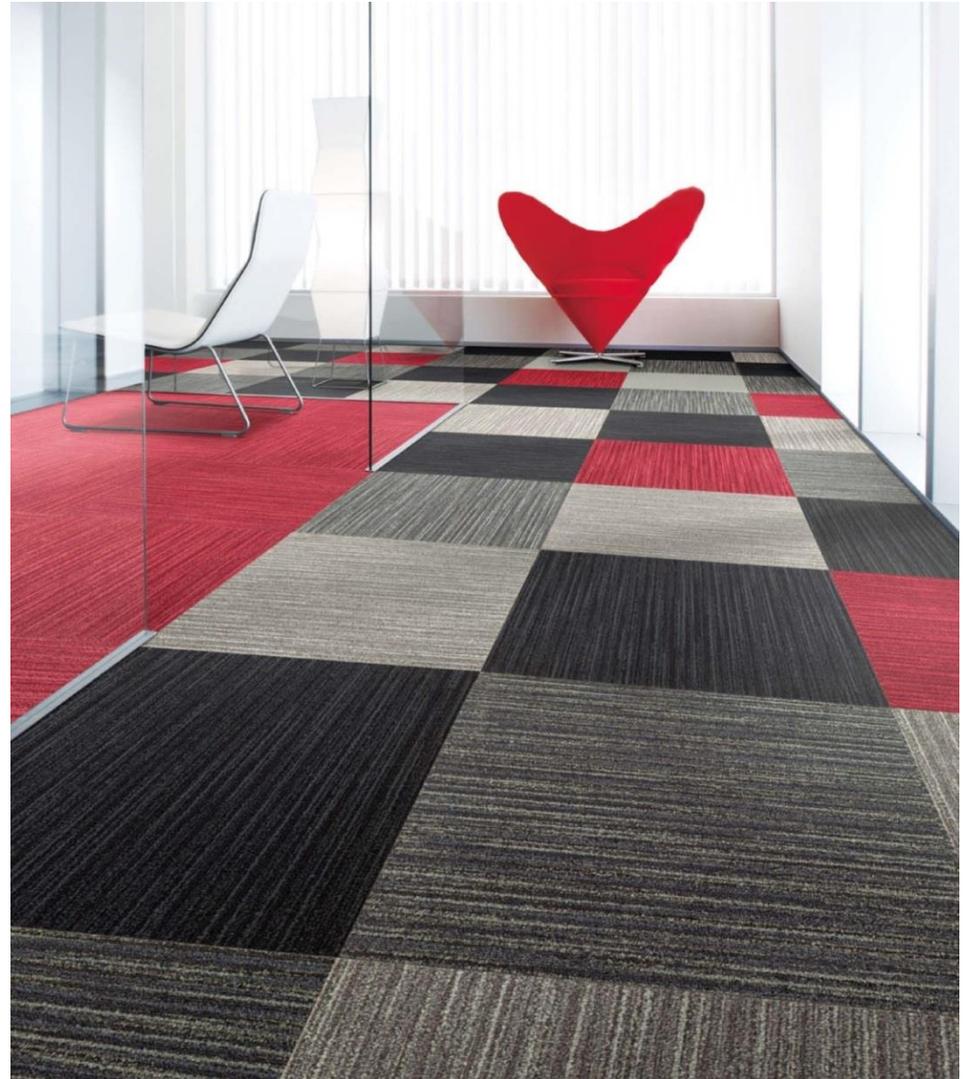


(2016年1月)

- ・ISO14001 認証取得
(カーペット)
海外環境対応基準への
適合推進



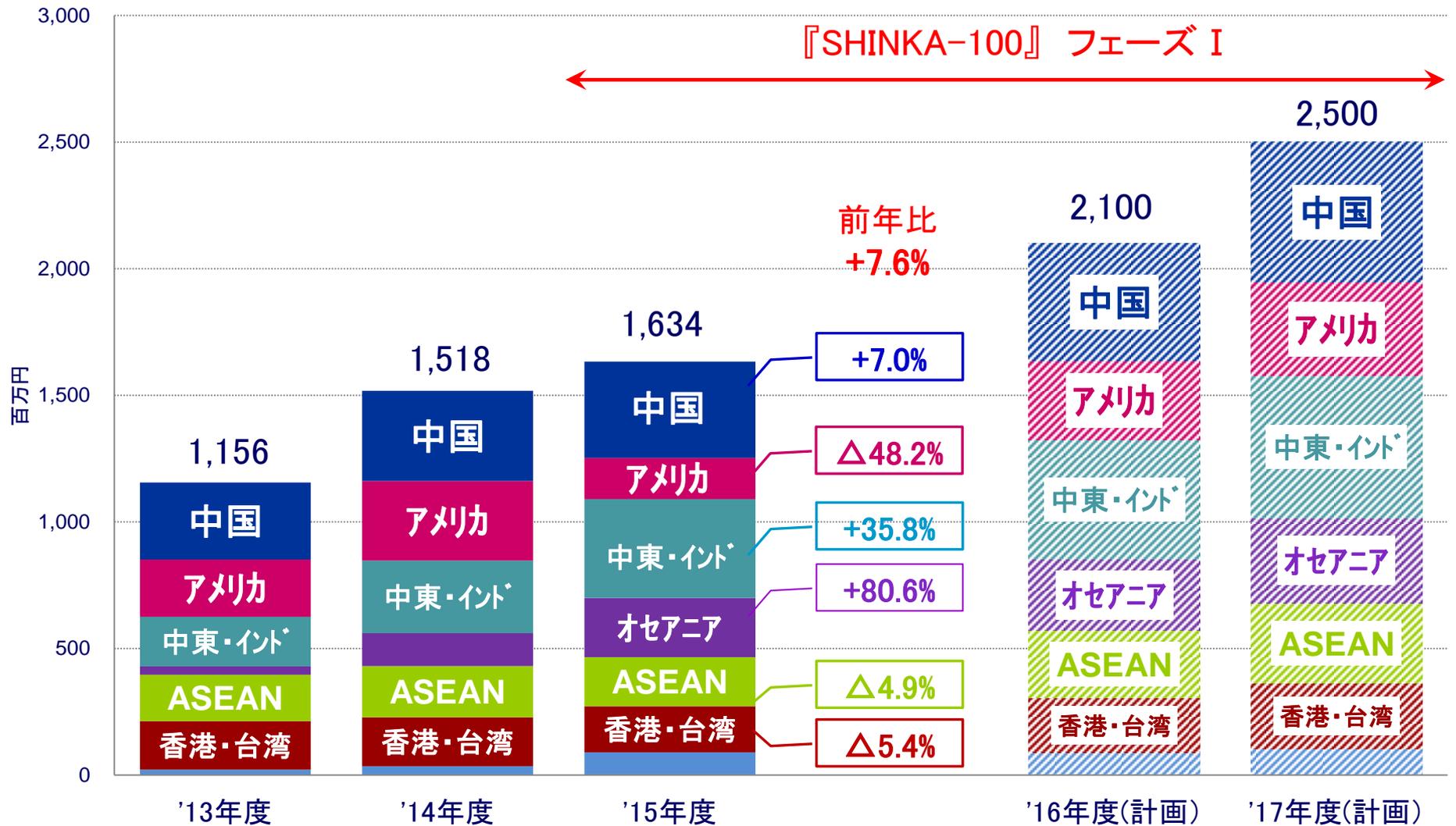
- ・米国市場での塩ビ床材
プロモーション強化



重点戦略「深化」 取り組み実績

～「海外販売の拡大」

海外エリア別 売上実績



「真価」 ～成長と発展のための基盤整備～

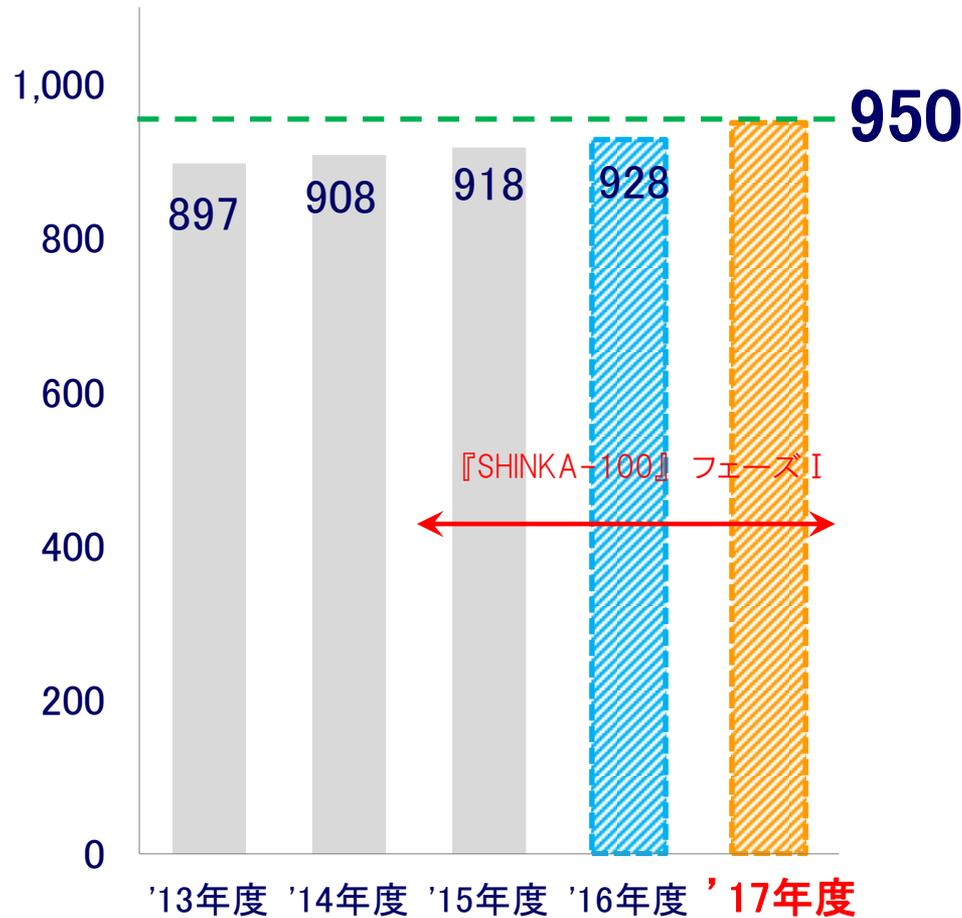
- 人材育成
- 財務体質の強化
- 業務プロセスの改善
- 利益体質の改善

(単体売上総利益率の向上、カーテン・壁装材事業の収益力向上)

中期経営計画『SHINKA-100』 連結経営指標

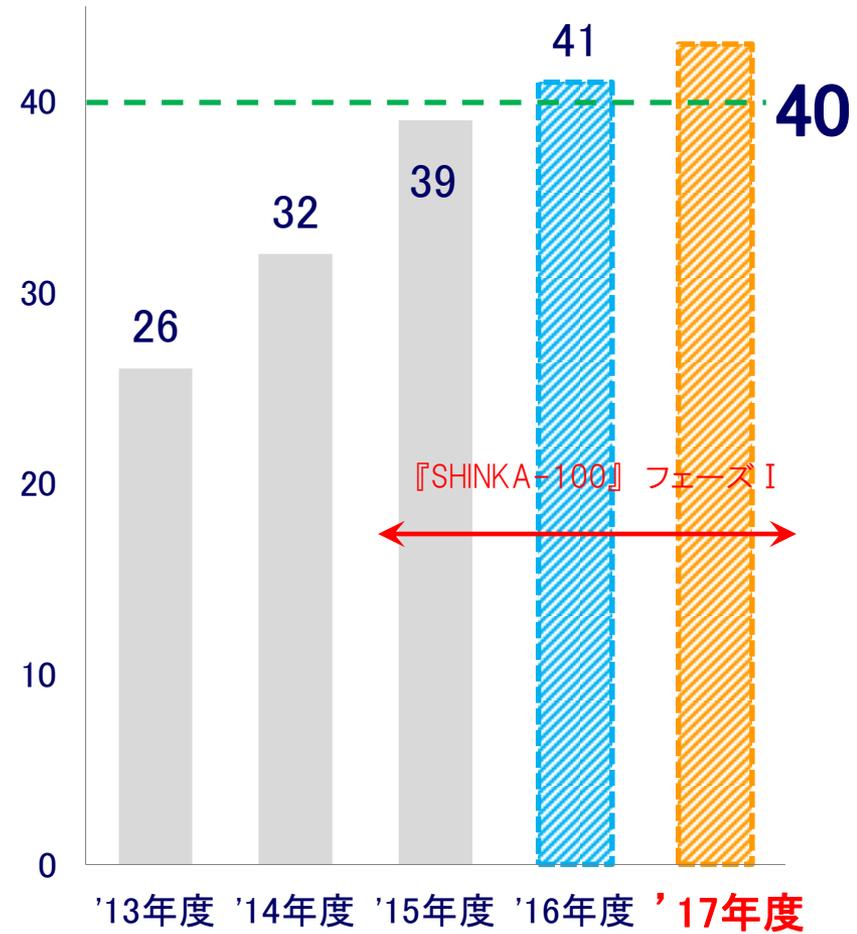
売上高目標

(億円)



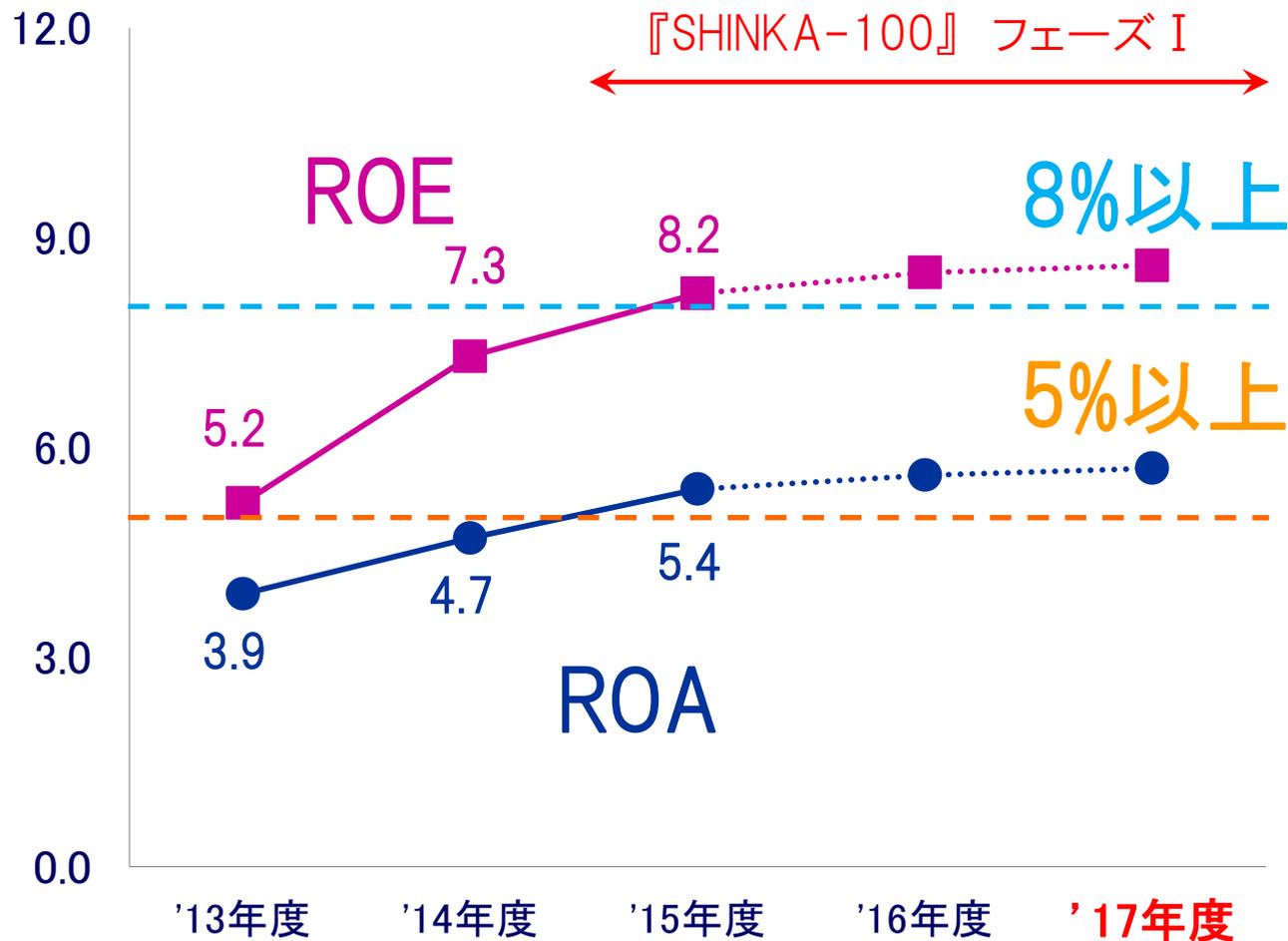
経常利益目標

(億円)



ROA・ROE目標

(%)



2016年度 連結業績見通し

(億円)

<2015年度>

<2016年度>

実績

業績見通し

前期比

売上高

918

928

+1.0 %

営業利益

38

40.5

+5.9 %

経常利益

39

41

+4.9 %

親会社株主に帰属
する当期純利益

24

27

+11.5 %

議案審議

- (1) 配当財産の種類 : 金銭
- (2) 1株当たり配当額 : 9円
配当の総額 : 555,234,174 円
- (3) 効力発生日 : 2016年6月24日

取締役候補者

永嶋 元博

安嶋 二郎

横田 絵理



第152回 定時株主総会



創立当時の伊丹工場

ありがとうございました